



2018年(平成30年)創刊
一般財団法人 燈和会
〒849-0904 佐賀県佐賀市金立町薬師丸997番地1
☎ 0952-65-4216
FAX 0952-65-9650
✉ admin@touwakai.jp
http://touwakai.jp/

燈輝新聞



優益のチカラを食卓へ

通常購入 14,800円(税込)
定期購入 11,800円(税込)
内容量:720ml
賞味期限:製造日より半年
保存方法:要冷蔵10℃以下



全国の普及活動所より
お求め頂けます

燈和プロジェクト

日本人が持つ「和の心」

賛同者でつくる絆

空間デザイン

今回、福岡の吉松和俊さんをご紹介します。

吉松さんは、有限会社吉松デザインを営んでいます。

燈和会の目指す理想環境のベースを作られました。

吉松さんより、出会った経緯、当会への想いを頂いたので、ご紹介します。

上津江への想い

皆様こんにちは、約40年間空間造りに携わってます吉松と申します。

幼少の頃、沢山の家族が住む木造商家に育ち、そこが私の仕事も含め、全ての原点となっています。

発想理念は古きを訪ね新しきを造る「温故創新」です。

仕事は勿論ですが、人と触れ合う事が大変心地よく、趣味のお酒での素晴らしい出来事を新聞寄稿したり、はたまた100キロウオーク大会などでの出会いを大切にしています。

財津相談役とは不思議な出会いを頂き、「すべての老若男女が同じ地域で暮らせる環境作り」の熱いお話

しに共感し、鳥肌が立った一年前の事は忘れません。

人の和により支えながら暮らせる村、のイメージ絵の依頼を頂きました。

タイトル「上津江が黄金に輝く日」と「上津江が真っ赤に染まる日」を描かせて頂きました。

財津さんの言葉をイメージし描き進むと過去時間にいざなわれ、私の好きな言葉、「普請」「結い」を思い出します。

かつて農村地帯で使われ、労働を提供し合う地域扶助で、日本特有の美しい言葉です。

中勘助の著書、「銀の匙」にも出てきます「そのうちに普請がはじまった。材木をひいてきた馬や牛が垣根にながれてるのを叔母さんにおぶさってこわごわながら見にゆく」は病身の勘助幼少時代の記憶。

勘助の目に映る普請場の「ノミや、チョウナや、マサカリや、てんでんの音をたて、胸をときませる」には、仕事に没頭する職人らが温かく包み込むものがあり、勘助の心に優しく刻まれます。

そしてこれが真の人間形成の姿だと気付

かされ、正に燈和プロジェクトはこの世界観の再現だと更に感動を覚え、無心に筆を走らせました。

今の日本、今日もどこかで争いや残酷な事件やニュースに心が痛みます。

地域の対立、はたまた国権の最高機関である国会での醜い争い、そして近隣諸国との争いは子供達にどう映ってるだろうと考えます。

皆がこの美しい行為「普請」「結い」を思い出して、他人を思いやる事で、未来の子供達が見る世界観が勘助と同じである事を切に願うところです。

先日新緑に包まれた山間にひっそりと佇む、旧上津江小学校《現在廃校再生プロジェクト進行中》へお伺いしました。

「トントントン」「キーン」！

静かな山間に響き渡る作業音！

「いらっしやう」

「良く来てくれました」

額に汗し、かなクズが舞う中から笑顔で出迎えて頂いた財津さん。

「ここが地元の食材を使った料理を提供する食堂です」

「ここは宿泊完備を整えています」

「ここは満天の星が楽しめる露天風呂です」

朝早くから午前様までの作業疲れを微塵も見せず施設内を案内して頂きました。

「待っていてくれる人達が居るので頑張れます」は財津さん。

そのキラキラと輝いた瞳の中には、私が描いた黄金に輝くサンシュユの花、真っ赤に染まるサンシュユの実が映り、そしてその先の子供達が野山を駆け巡り、若者がお爺ちゃんの手を取り、お婆ちゃんを労わる姿が見えてるのだろうと確信しました。

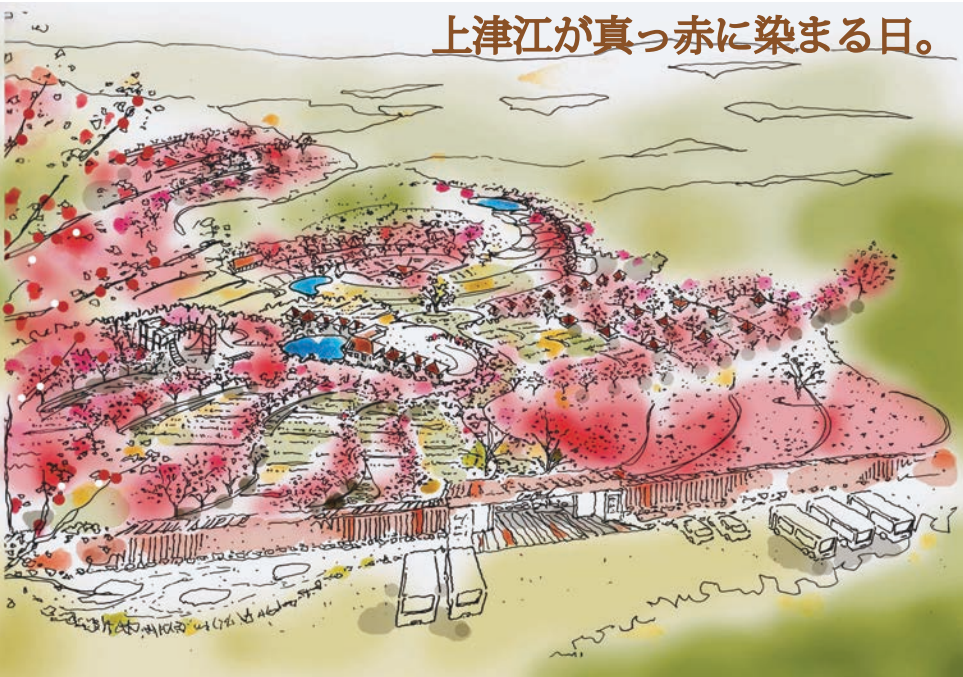
早く泊まりに行きたい、益膳料理を食べてみたい、と沢山の人が達が開設を待望してるようです。

私も描いた絵を見ながら想いを馳せ、楽しみにしてる一人です。

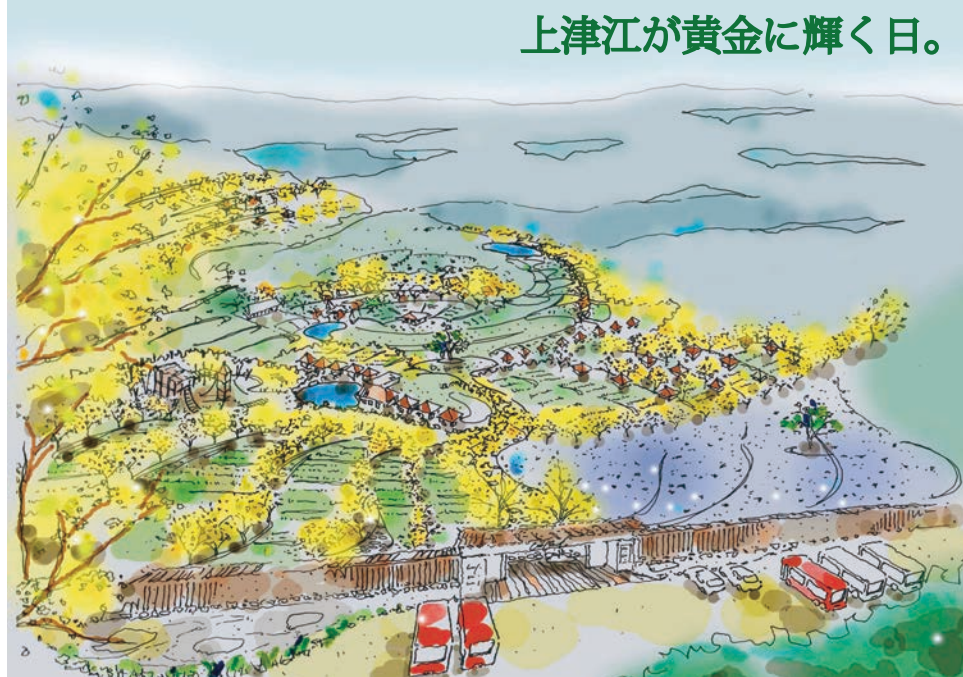


Kamitsue in autumn. Kamitsue in spring.

上津江が真っ赤に染まる日。



上津江が黄金に輝く日。



パース



燈和ニュース

廃校再生プロジェクト

玄関ホール

燈輝新聞第10号で紹介した、玄関ホールの発動機。1階の教室を展示室にし、移動した。玄関ホールは、受付として、廃材を利用して、カウンターを作製した。



2019年4月



2019年7月



『すべてが手作り』

全てを手作りにこだわり、小学校にあるものは、加工・再利用と、みんなが知恵を出し合いながら、日々作業を進めています。



益之湯進捗状況

経理室

前号で紹介した、屋外のお風呂(葉草湯)の脱衣所の施工を開始。元経理室を脱衣所として施工している。水場ということもあり、天井、壁、床を全て木材で作成を進めている。



賛同者でつくる絆「和のこころ」

イソップ寓話「ライオンとイノシシ」というお話をご存知でしょうか？
次のようなお話です。

ある夏の暑い日、のどの渇いたライオンとイノシシが、泉に水を飲みに行ってきた。しかし、泉は小さく、お互いに自分が先に飲みたくてにらみ合いになりました。そして大ゲンカとなり、殺し合う寸前にまどなりました。

ふと、2匹が同時に岩場を見ると、ハゲワシがケンカの様子を眺めていて、負けて死んだほうの肉を食べようと、舌なめずりをしているではありませんか。
「こんなことでハゲワシの餌食になるなんてバカバカしい。譲り合って仲良く水を飲めばいいんだ」

2匹はやっとそのことに気づき、仲直りしました。

くだらないことで貴重な時間やお金などを浪費してはならない。



梅雨明け宣言が待ち遠しい、今年の夏です。今後の日本で起きていく問題に対して、何らの具体的な解決策が講じられなくて、皆さんは待ち遠しいのではないのでしょうか。

問題となっている事として、少子高齢化問題があります。少子高齢化が進む一方で日本の総人口は急激に減り続けています。人口の構造でいえば現在は1人の高齢者を約3人で支えているのが、2050年には一人で一人を支えていかなければならなくなります。

また、日本の財政は、社会保障財政のバランスが崩れる事が懸念されています。介護の為に離職せざるを得ない、また、病院での十分な医療を受けられなくなり、在宅医療の選択しかなくなることが想定されます。

燈和会では、これらの問題(少子高齢化、貧困化など)を誰かがやってくるであろうと、様子を眺めて待つのではなく、考え方を少し変えて、物の見方を変える工夫をする。

そうすると、日本人が元々持つ「和の心」で、お互いを認め合い、賛同者で「大自然の中で老若男女が共に助け合う環境作り」構築していくことが、問題解決の糸口になると考えています。燈和プロジェクトに着手し始めて、ようやく一つの節目である、大分県日田市津江でのオープンが間近となっている。

漢方薬剤師一寸話

第十三話 「漢方薬って知ってる？」



漢方相談 あうん堂薬局
漢方薬剤師 梅田 秀男さん

皆様こんにちは、漢方薬って知ってる？と尋ねたら、大抵の日本人なら「ああ薬になる葉っぱなんかを煎じて飲むやつね。」とか「病院で出る銀パックのやつね。」てなことくらいはわかるんですが、それ以上はなかなか言えない。まあそんなところはないでしょうか。私も理解しているつもりでも迷いが来て何回も書物を見直すというの

は絶えずあります。ということでも復習もかねてもう一度おさらいをしたいと思いま

で、漢方の薬方、例えば当帰芍薬散とか葛根湯とかいうようないろんな薬草を組み合わせて出来上がったもの

です。漢方の薬方、例えば当帰芍薬散とか葛根湯とかいうようないろんな薬草を組み合わせて出来上がったもの

です。漢方の薬方、例えば当帰芍薬散とか葛根湯とかいうようないろんな薬草を組み合わせて出来上がったもの

日本でも使用されている薬方は、ざっと3000薬方くらいですか、その中でも漢方の製薬メーカーが造っているエキス剤は、半分もないのでは。

ii. ですから大事な薬方でも使用頻度(販売量)が少ないと造っていない、それを必要とする場合には煎じ薬を造らざるを得ないということになってきます。

iii. さてどこから入っていくでしょうか？なにせ2,000年もの間培われてきた学問ですから、簡単にここからというわけにはいかないのですが、ちやうど目の前に五行表(第1図)というのがありますので、この辺から入っていくことにしようかなと思います。

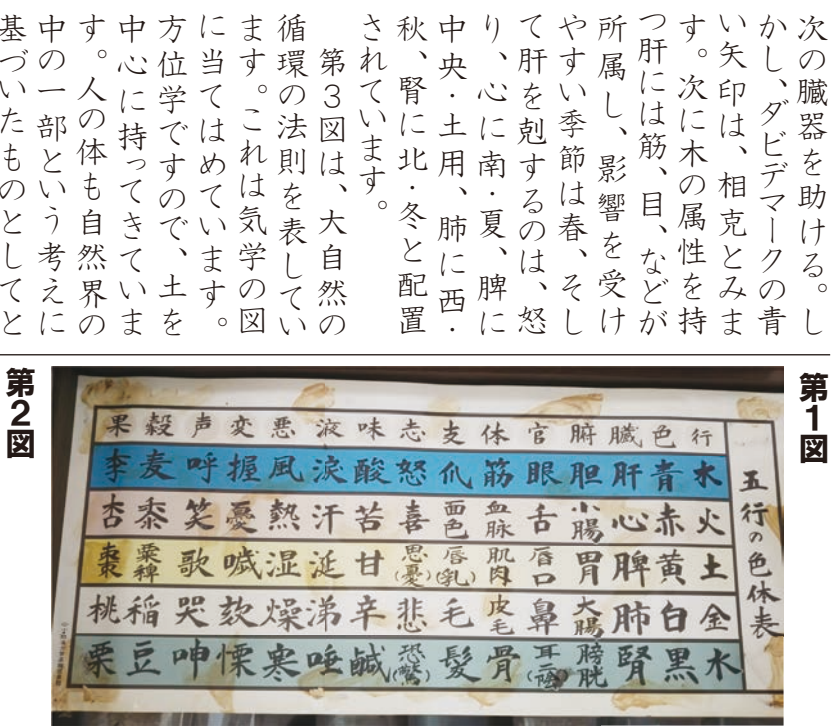
元々は、自然界のサイクルを人体に関するもの当てはめて五つの要素に分けた考えです。木・火・土・金・水この考えは左から右へ順に生じる、一個飛ばしで刻めるのですが、なかなかわかりにくいので円形(第2図)にしてみました。

iv. こんな絵を漢方薬局に行くときみることが出来ますが、木・火・土・金・水にそれぞれ肝・心・脾・肺・腎の五臓を当てはめています。これらは、五臓の色体表とよばれ赤い右回りの矢印は、相生で

次の臓器を助ける。しかし、グビデマークの青い矢印は、相克とみま

す。次に木の属性を持つ肝には筋、目、などが所属し、影響を受けやすい季節は春、そして肝を剋するのは、怒り、心に南・夏、脾に中央・土用、肺に西・秋、腎に北・冬と配置されています。

第3図は、大自然の循環の法則を表しています。これは気学の図に当てはめていきます。方位学です、土を中心



「益膳研究会」募集のお知らせ

募集趣旨

- 今後訪れる危機に備えて、身体に良いものを開発し、多くの人に提供していくことを目指す。
- 人に良いと書いて食。自然食材重視の食養生の確立。

募集要綱

研究会を開設する為の

- 条件: 普及指導所、普及所を開設している方
- ・ 普及所となって、独自の研究会を構築し、**燈和ブランドの開発**
 - ・ 研究会員の**生活の糧**を構築する **・ 地域産物の活用**
 - ・ **地域への貢献** **・ 高齢者への雇用促進**など

研究会員になる為の

- 条件: 16歳以上の男女ならだれでも参加できます。
- 入会金: **12,000円**(※燈和プロジェクト会員の方は不要です。)
- 活動日時・場所は、地域ごとに取り決めする。
- 月会費は、研究会の会長に一任する。

「益膳研究会」の募集をしています。

「優益酵素」「益膳鍋キット」をはじめ、普及予定の「益膳麺キット」「益茶」「益酒キット」等の普及品開発。

また、食益に関する研究及び試作品の製作をしています。

試食会や試飲会にて、事業説明会も致しておりますので、普及所または、当会までご一報下さい。

※当会では、使用薬草の純国産化(津江産化)及び自社農園での栽培を目指しています。



「優益酵素」



「益蓬蒸」



「益膳鍋」



「益酒キット」



「益茶」

※詳細は、下記までご連絡ください。



- A 益膳鍋セット 3,000 円 (税込)**
内訳：益膳鍋の素(2人分)×2袋
- B 食養生3点セット 3,500 円 (税込)**
内訳：益膳鍋の素(2人分)
益膳カレーの素・五穀米(4人分)
益膳枇杷茶(15包)
- C 食養生4点セット 4,500 円 (税込)**
内訳：益膳鍋の素(2人分)
益膳カレーの素・五穀米(4人分)×2箱
益膳枇杷茶(20包)

D 食養生4点組合せフリーセット 価格：要相談

内訳	益膳鍋の素(2人分)	個
	益膳カレーの素・五穀米(4人分)	個
	益膳枇杷茶(20包)	個



お申し込み期間

7/1(月) ▶ 8/10(土)

お届けは、2019年7月10日～8月18日です。



スパイシーなカレーパウダーと、小麦粉をじっくり炒めた程よい辛さのカレーです。仕上げにオリジナル和風出汁と、旨みスパイスを入れることでコクと香りが増し、いつものカレーが大きく変わります！更に古代米で栄養満点！



日田産益草エキスの素：原木椎茸・枇杷の葉・十薬・菊芋・あごだし・お醤油入り。レシピがついてますので誰でも簡単に調理できます。季節の野菜や豆腐など好みの食材でお楽しみください。

上津江の食養生便り
大分県から夏の食材を紹介します



日田産の枇杷の葉を使用。近年は健康や美容のために枇杷茶を飲む人が増えています。あっさりと美味しく飲みやすいお茶です。

一般財団法人燈和会 「燈和益膳茶屋」
大分県日田市上津江町川原 2458 番地 3
TEL・FAX 0973-55-2750